

ふくしまっ子

体力向上総合プロジェクト

H28. 6. 10

第11号

福島県教育庁

健康教育課

体力向上に関する体育指導担当者研修会が行われました

5月10日の県中・県南地区に引き続き、いわき地区でも研修会が開かれました。児童生徒の体力向上への意識を高めるきっかけの一つとなる研修会となりました。

いわき地区

平成28年5月19日（木） 会場：内郷コミュニティセンター

【実践発表】

○ 運動身体づくりプログラムの実践について

いわき市立小名浜東小学校 教諭 渡辺 佑太 様
プログラムのメニュー表をリズム太鼓に貼ったり、体育館に掲示をしたりして「運動身体づくりプログラム」実施の環境を整えていった。画像をとおした各学年等の実践紹介では、全校で体力向上に取り組んでいる姿をお聞きすることができた。

○ 体育専門アドバイザーの効果的な導入について

いわき市立渡辺小学校 教頭 原田 知幸 様
新聞記事や学校のHPで紹介したことを基に、アドバイザーが学校の中でどのように活躍していたのかをお聞きすることができた。子どもたちや職員とアドバイザーの深い信頼関係をうかがい知ることができた。

○ 部活動や武道等授業における外部指導者の活用について

いわき市立植田中学校 教諭 小林 智志 様
サッカー部の外部指導者について、その活動の様子を詳しく知ることができた。外部コーチとしての思いや願い、生徒や部活動顧問から見た外部コーチの存在感、学校と地域との信頼関係の大切さなどを紹介していただいた。

【情報交換】

「自分手帳」についての情報交換では、5～6人のグループで、体力向上に生かせる取組について話し合いが行われました。参加した先生方からは次のような話題が出ました。

- ・ 手帳が、常に子どもたちの手に触れられるようにしたい。 (小学校)
- ・ 毎月19日（食育の日）には、必ず食育の内容について書かせている。 (中学校)
- ・ 前年度までの体力テストについて振り返り、本年度の目標をもたせるようにする。 (高校)



（文責 健康教育課 指導主事 塩田 俊郎）